

学校だより

令和7年度 第3号

東京都立小金井特別支援学校 令和7年5月30日



自立と社会参加を目指して ～キャリア教育の推進～

校長 村山 孝

令和7年度がスタートして、2か月が経過しました。新入生の皆さんは学校生活に慣れ、主体的な活動が増え、できるようになった活動も増えてきました。

さて、今回は「キャリア教育」について、お伝えさせていただきます。文部科学省では、キャリア教育について「人が生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分との関係を見いだしていく連なりや積み重ねが、『キャリア』であり、一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育が『キャリア教育』である。」と述べています。

本校では、児童・生徒の皆さんが行っている「様々な役割」について指導・支援し、教育活動全体をととして「キャリア教育」を進め、児童・生徒の皆さんの「自立と社会参加」を目指していきます。

今回は、自立と社会参加で大切な2点について、述べさせていただきます。

〔1〕挨拶を大切に

本校では、挨拶を行うことを大切に、先生方が児童・生徒の皆さんに指導や支援を行っています。私と副校長は毎朝、靴箱のある昇降口付近に立ち、児童・生徒の皆さんに挨拶をしています。私にとって大切な日課となっています。児童・生徒の皆さんは私たちの姿を見ると元気よく、そして一生懸命に挨拶してくれます。児童・生徒の皆さんの挨拶の仕方は様々ですが、毎朝の挨拶で心がとても温かくなります。挨拶は人と人をつなぐ大切な行為です。挨拶は社会生活を営む上で必要です。「自立と社会参加」を進めていくための重要なポイントとなります。今後、挨拶を大切にしていきたいと思っています。

〔2〕歩くこと、移動することを大切に

歩くことや移動することは、人が生きていくとき、必要な行動の一つです。本校の児童・生徒の皆さんは、校内や校外で移動している様子がありません。小学部1年生の皆さんも、学校生活に慣れ、廊下を歩いている姿をよく見ます。4月当初は、先生に助けをもらいながら歩いていましたが、友達と手をつなぎ、列を作っている学級もあります。学級によっては、友達と手をつなぎことなく、一列で前の友達などに遅れないように、一人で歩いている様子もあります。1年生の頑張りにとても感心しています。

歩くことは、足（脚）や体を使って移動することです。移動するときには、周りの状況を見て、たくさんのことを考え、判断して進まなくてはなりません。時には、すれ違った人に「挨拶」を行うこともあります。

歩くこと、移動することは社会生活では大切なことです。歩くこと、移動することを大切に、児童・生徒皆さんの「自立と社会参加」を目指していきたいと思っています。

歩行学習の一例

歩行学習は、様々な方法があります。最終的な目標としては「自分自身で考え、判断し、安全に目的地まで到着する。」が考えられます。歩行学習の一例を御紹介いたします。順番は異なる場合があります。

① 先生と手をつないで目的地まで歩く ② 先生と手をつないで、前の人から離れないで目的地まで歩く（列の意識） ③ 先生が先頭となり、友達と手をつないで、前の人から離れないようにして目的地まで歩く（列の意識） ④ 先生が先頭となり、一列で前の友だちから離れないで目的地まで歩く（列の意識） ⑤ 一人で目的地まで歩く ⑥ 一人で通学する などが一例です。学校で行う歩行学習で大切なことは、先頭の先生の指示を聞き、遅れないで安全に歩くことが大切です。本校では、お子様の能力を考慮して様々な工夫しながら指導や支援を行ってまいります。

*5月26日より、各学年の年間指導計画を小低・小高・中の3つのファイルに分けて玄関に置かせていただきました。来校の際などにご覧ください。